

共感力が求められる時代

知識から感情の知性、つまり共感の時代に変わりつつあると言われている。ただ共感とは何となく分かるような気がするが、敢えて説明するとなるとむずかしい。日常生活では他者の感情をくみ取ることが共感ということになるが、共感と同情はどのように違うのだろうか。そんなことを考えていた時、1冊の本に出合った。ハーバート・ビジネス・レビュー編集部がまとめたもので「共感力」ダイヤモンド社刊。本の中でダニエル・ゴールマンは共感を3つのタイプに分けている。①認知的共感、②情動的共感、③共感的関心。私たちが通常共感と呼ぶのは2の情動的共感ではないだろうか。共感は大切だが、限界を超えると共感的疲労という状態になるとのこと。さてここからは私の思いになるが、共感の対象は人間だけではないのではないか。自然界の生き物、さらには山や川、大空にも私は共感を覚え、癒されることがある。「共感力」という本を読みながら私なりに共感について学んでいきたいと思っている。そこに新しい世界が開けるかもしれない。

代表理事 阿部 義通

[illegible]

1. 「第二の故郷づくり」プロジェクト

第二の故郷づくりの事業計画案が出来上がりました。今後更に練り上げ、深めていく必要がありますが、今回丁度良い機会ですので、品川区の「ビジネス創造コンテスト」に理事会のご了解を頂いて応募することにしました。来年2月上旬に結果が分かります。この事業の目的は以下のようになります。

「高度情報化、経済合理性を求める社会で働く都会の人は、リアリティが希薄化し生きている実感や心の安心を失いつつある。この事業を通じ、都会人にとっての心の拠り所、また癒しと安心の場を農山村につくりたい。同時に、その地域の人々との共同プロジェクトなどを通じて、農山村の過疎化、高齢化問題の改善、及び自然環境保護等の地域課題の解決に貢献する。農山村は、繰り返し訪れる場所となり、都会人の第二の故郷（ふるさと）となる。都会と農山村の相互的な関係づくりにつながる」と考える。」

(阿部)

2.「神田の森」プロジェクト

日が短くなり、冬の気温になってきました。そんな中、屋上のカブやダイコン、カリフラワー、イチゴは順調に成長しています。シュンギク、ミズナはもうすぐ収穫。思わず暖かい鍋を思い浮かべてしまいます。狭い屋上ですが、都会のほかの場所よりも季節を感じる空間です。フィリピンなど原産地が南洋のモリンガも2メートル以上の高さになってまだ緑を保っています。土の深さはたった16cmですが。

(伊藤)



ミズナとシュンギク

3. えごま日記「収穫真っ最中」

今年収穫の搾油と出荷作業が始まりました。えごまは酸化しやすく、種の管理状態が悪いと油にも影響がでるため、種を保管する前に十分天日に干し、虫を追出し乾燥させます。その後搾油工程に入りますが、写真は地元の小学4年生が栽培したエゴマの種を洗っているところです。授業の一環としてえごま栽培を取り入れています。

(柴原)



エゴマのタネ洗い



□三井住友海上火災 栽培指導(24区画) 毎週土曜日
7日・14日・21日・28日 指導 午前10時～12時
阿部・庭野
場所／三井住友海上火災ビル屋上(千代田区神田駿河台3-9)

□北千住ルミネ屋上菜園作業(13区画) 毎週水曜日
4日・11日・18日・25日 作業 午前10時～12時
阿部・阿部(延)・丹羽・庭野・藤掛・丸原・森川
場所／北千住ルミネ(足立区千住旭町)

□台東区老人ホーム 栽培管理作業(2区画)
および講習/ワークショップ
12日・26日 午後2時～4時 隔週木曜日
阿部・庭野・丸原 場所／フレスコ浅草(台東区浅草)

□墨田区老人ホーム 栽培管理作業(6区画)および懇談会
11日・25日 午前9時30分～11時30分 隔週水曜日
阿部・丹羽・庭野・古庄 場所／こまち墨田館(墨田区押上)

11月の活動報告

◇三井住友海上火災(株)駿河台菜園部会◇ 11月1日(金) 交流会開催

11月1日金曜日の夕方6時から屋上菜園利用者の交流会を開催しました。多くの方が参加され、野菜栽培で楽しかったこと、難しかったことをざっくばらんに話合いました。栽培作業をアシストする私たちにとってもいろいろ気付く点がありました。冬は夏に比べると利用者のモチベーションがやや下がり気味になります。野菜の美味しくなる時期であることをお伝えしていきたいと思っています。

(阿部・庭野)



トンネル掛け

◇墨田区老人ホーム部会 こまち墨田館◇ 屋上菜園に花々

今年の冬から来年の春に向けて、こまち墨田館の屋上菜園は花で彩られることになるでしょう。サトイモを収穫した区画にはビオラ。既に花を植えてある区画と木製プランターのハーブの横にいろいろな花…と、たくさんの花です。中には食べられる花もあります。老人ホームの食堂で何かお祝いの時に使って頂ければ嬉しいですね。

(庭野・阿部)



色とりどりの花たち

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇ 保育園の園児とサツマイモ掘り

秋も深まり、屋上では吹き抜ける風に時折肌寒さを感じる季節になってきました。

そんな中、11月は第一週目に毎年恒例となっている保育園の子どもたちとサツマイモの収穫を行いました。今年も大変にぎやかなひと時となりました。また、屋上でのブドウ栽培の拡充が正式に決まり、木枠の増設作業が始まります。新しい木枠は現在栽培中のブドウの隣に設置し、栽培規模を2倍にしていこう予定です。今年の秋には20房収穫できました。来年の秋は40房収穫を目指します。既存の区画では、イチゴ苗の定植などを行いました。イチゴにはマルチングを施し、マルチングのシートは風で飛ばされないように水囊で押さえつけています。ブロッコリーやカリフラワーには追肥や土寄せ、下葉の除去を行いました。ブロッコリーには花蕾(つぼみ)が育ち始めていました。冬以降も楽しめが続きます。

(藤掛)



ブロッコリーの花蕾



イチゴの定植

◇台東区老人ホーム部会 フレスコ浅草◇ 屋上菜園を通しての交流

フレスコ浅草への出動は第二木曜日と第四木曜日、月2回。午後2時からです。11月は特別に第5土曜日にあたる30日に交流会がありましたので出動しました。屋上菜園を近隣の子育てファミリーに開放し、子供達にダイコン、ミズナ、ハクサイを収穫してもらいました。大根は長さ20cm以上の太く育ったものを8本収穫！その後は入居者の高齢者の皆さんと3組の子育てファミリーがアツアツの鍋を囲んで食事会。楽しいひと時となりました。

(阿部・庭野)